がん薬物療法計画指示書(大腸癌)

主治医	(指示医)	
ㅗᄱᄷ		

指示日 年 月 日

レジメン名称 FOLFOXIRI+BV 療法

1	ク-	- ルの)日業	女 14	4 A)
		<i>,,</i>	ᄼᆸᅗ	יו גד	T LJ 1

1. 治療予定期間年 月 日 ~ 年 月 日・実施クール () クール目2. 患者情報診断名 (進行 ・再発大腸癌)

必有情報 罗門石 (连门 行死入杨本)

身長 <u>cm</u> 体重 <u>Kg</u> 体表面積 <u>m²</u>

3. 使用薬剤・投与量

薬剤名	用量	実投与量(mg)	投与方法	輸液	
①アバスチン(100mg: 400mg)	5mg/ <u>kg</u>	mg	d. i. v.	生食 100mL	
②イリノテカン (40mg: 100mg)	165mg/m^2	mg	d. i. v.	5%ブドウ糖 250mL	
③オキサリフ・ラチン (50mg: 100mg)	85mg/m^2	mg	d. i. v.	5%ブドウ糖 250mL	
④レホ * ホリナート (25mg : 100mg)	200mg/m ²	mg	d. i. v.	5%ブドウ糖 250mL	
⑤フルオロウラシル (250mg:1000mg)	3200mg/m ²	mg	cont. d. i. v.	生食 <u>mL</u>	

4. 投与レジメン

投与日	投与時間	薬剤		実施	Dr. 確認
Day 1 (/)	30min	生食 250mL + プロイメンド 150mg div.			
	15min	生食 50mL + パロノセトロン 0.75mg + デキサート 9.9mg div.			
	※90・60・30min	生食 100mL + アバスチン <u>mg</u> div.			
	1hr	5%ブドウ糖 250mL + イリノテカン mg			
	0 L -	5%ブドウ糖 250mL + オキサリプラチン <u>mg</u>) 共芸!!!			
	2h r	5%ブドウ糖 250mL + レボホリナート <u>mg</u> 並列 div.			
※入院で実 施する場合	輸液ポンプ使用	7ルオロウラシル注 <u>mg(mL)</u> + 生食 <u>mL</u>			
	3mL/hr で 46hr	合計 <u>138mL</u> ※全量 138mL に調製します。			
	インフューサゲー				
※外来で実 施する場合		フルオロウラシル注 <u>mg(mL)</u> + 生食 <u>mL</u> 合計 mL			
ルジャック初口	46h r				
CBC・生化学検査は投与日の(前日・当日朝)					

- ※ ただし、アバスチンの投与時間は初回投与は90分間かけて点滴静注して下さい。初回投与時の忍容性が良好であれば、 2回目の投与は60分間にすることができ、さらに2回目投与時の忍容性も良好であれば、それ以降の投与は 30分間にすることができます。
- ※ 入院時または外来時でアルオロウラシル注を 46 時間持続静注する場合、上記のレジメンに従ってどちらかを選び入力して下さい。(不要な Rp. は削除して下さい)